

本資料は、報道関係者を対象としています。医療現場や一般の方々を対象とした医学的な情報提供や、プロモーションが目的のものではありません。なお、これらの資料は配信時当初の情報が掲載されており、最新の情報が反映されているとは限らないことをご了承ください。

報道関係各位

2026年6月10日

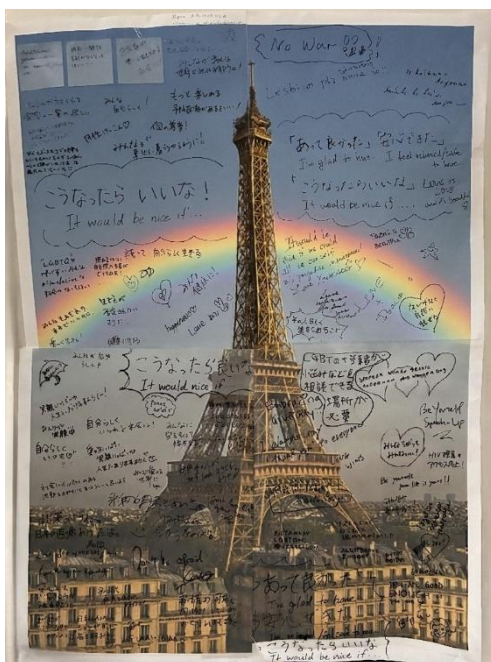
サノフィ、LGBTQ+象徴イベント「Tokyo Pride 2026」に協賛 ～すべての人が安心できるインクルーシブな医療環境の実現を目指して～

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦、以下「サノフィ」)は、アジア最大級のLGBTQ+象徴イベント「Tokyo Pride 2026」に協賛し、2026年6月6日(土)・7日(日)の「Pride Festival」では「誰もが自分らしく、安心して受けられる医療を」をテーマに掲げたブースを出展しました。また、7日(日)の「Pride Parade」では社員30名のパレードを通じて、LGBTQ+コミュニティへの支援を表明しました。

グローバルヘルス企業のサノフィでは、従業員が主体となり、インクルーシブなカルチャー醸成を推進するグループ Employee Business Resource Group: EBRG(従業員ビジネスリソースグループ)が活発に活動しています。そのひとつである「PRIDE+」には224名のLGBTQ+アライグループメンバーが参画し、アライ活動を通じて、誰もがベストパフォーマンスを発揮できる社内環境の構築と、LGBTQ+当事者の医療アクセス向上に取り組んでいます。今回のTokyo Pride 2026への協賛・出展もPRIDE+が中心となって実施しました。

さらに今回は、サノフィが推進するグローバルイニシアチブ「[A Million Conversations \(AMC\)](#)」とのコラボレーションが実現しました。AMCは、ヘルスケア業界におけるマイノリティの人々と医療関係者との信頼関係の構築を目標に掲げるイニシアチブです。2022年にサノフィが開始したグローバル調査によると、女性、障がい者、LGBTQ+、少数民族など全体に占める割合が人口比率より低い属性にある、いわゆるマイノリティと呼ばれる人々は医療への信頼度が低いことが明らかになっています。この信頼の喪失は、受診の遅れや治療の中断など、心身の健康状態の悪化につながる懸念があります。PRIDE+とAMCが連携することで、LGBTQ+の当事者の方々が医療現場で感じる不安や障壁に対して、社内外から具体的なアクションを起こすことができると、サノフィは確信しています。サノフィは今後も、LGBTQ+の方々を含む、すべての人が安心して医療を受けられるインクルーシブな環境の実現に向けて、取り組んでまいります。

■ ブース出展で、想いをつなぐ虹のエッフェル塔メッセージボードが完成



PRIDE+とAMCとの協働で、「LGBT理解増進法に基づく基本計画に関する要望書」を厚生労働省・内閣府に提出した実績のご紹介とともに、職場・学校・医療機関で「誰もが自分らしく安心して過ごせる環境」について、来場者と一緒に考えを深めました。「もっとこうなったらいいな!」というメッセージボードには、「自分らしく」「医療アクセス向上」など、率直な想いが多言語で寄せられました。



■パレード参加で、LGBTQ+コミュニティへの支援を表明

社員とご家族 30 名がパレードに参加し、沿道から声をかけてくださる方々に笑顔で応えながら行進しました。参加者からは「会社として多様性を支援する姿勢を実際に行動で示すことができ、誇らしく感じた」との声が上がりました。



■ サノフィにおける LGBTQ+ の取り組み

【社会的インパクトの創出】

政策提言活動: 2025 年 5 月、サノフィを含む複数の製薬会社と、LGBTQ+ 領域の企業研修等を行う株式会社アカルクを中心に構成される『LGBTQ+ の医療における要望書タスクフォース』にて、「LGBT 理解増進法に基づく基本計画」に関する要望書を内閣府・厚生労働省に提出。医療アクセス向上に向けた取り組みを加速しています。

【企業の垣根を超えた連携】

Pharma for PRIDE: 会社の枠を超えた、より影響力のある啓発を目的に、2022 年に同業他社とともに発足。定期的な合同勉強会を開催し、業界全体でのインクルージョン推進を強化しています。

【社員主体の啓発活動】

アライコミュニティ: 誰もが参加できる LGBTQ+ アライグループには、現在 224 名の社員が参画しています。
Tokyo Pride への継続参加: アジア最大級の LGBTQ+ イベントに 2022 年から毎年参加し、社会への理解促進を後押ししています。

【活動の評価】

2022 年 PRIDE 指標 シルバー認定 (初取得)
2023 年 PRIDE 指標 シルバー認定
2024 年 PRIDE 指標 ゴールド認定 (初取得)
2025 年 PRIDE 指標 ゴールド認定、レインボー認定 (初取得)



サノフィは、誰もが自分らしくいきいきと働ける職場環境の実現に向け、カルチャー & インクルージョンの促進に取り組んでいます。当社は約 60 カ国で事業を展開しており、文化や価値観の多様性を尊重するさまざまな活動を進めていますが、職種も役職も多様なメンバーで構成された EBRG が、LGBTQ+ を含むインクルーシブな職場づくりを目指し、社員が主体的に活動しています。これからも引き続き、性別、人種・民族、信仰、LGBTQ+、年齢や障がいの有無に関わらず、すべての人が公平に働けるインクルーシブな環境の実現に向けて、より一層取り組んでまいります。

A Million Conversations とは

サノフィが実施している世界的な取り組みで、ヘルスケアシステムをよりインクルーシブなものへと変革することを目的としています。特に、歴史的に支援が十分に受けられなかった人々 — 女性、障がい者、LGBTQ+、少数民族の人々など — を対象としています。こうした人々は、過去の医療に関する否定的な経験により、医療への信頼度が他の人々に比べて低い傾向があります。(ヘルスケアにおけるトラスト・ギャップに関する報告書)

私たちは、誰もが公平にヘルスケアにアクセスし、必要な医療を受けられる世界を構築することを決意しています。

具体的な取り組み内容は下記の通りです

- ①マイノリティの人々との対話型イベントの実施
- ②対話をもとにした今後の改善策の検討・提言
- ③多様な属性の人々がヘルスケア産業に参画することを促す「サノフィ次世代奨学金」の実施

取り組みの詳細については、[A Million Conversations- Sanofi in Japan](#) をご参照ください。

サノフィについて

サノフィは、研究開発型の AI を活用したバイオ医薬品企業であり、人々の暮らしをより良くし、力強い成長をもたらすことに尽力しています。免疫科学領域の深い知見を活かし、世界中の何百万人もの人々の治療と予防を行う医薬品やワクチンを提供し、さらなる貢献のために革新的なパイプラインの構築にも注力しています。「人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する」という使命のもと、医療・環境・社会が抱える課題に真摯に向き合い、社員と国や地域社会にとって前向きな変化を生み出すことを目指しています。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<https://www.sanofi.co.jp/> をご参照ください。